

# 仕事をつくる わたしの履歴書

長かった夏が終わり、ようやく秋らしくなってきましたね。私はこの間、六甲ミーツ・アートに行ってきました！われらが松蔭中学校・高等学校美術部の作品もばっちり見ましたよ♪自然体感展望台六甲枝垂れ、六甲山カンツリーハウス、六甲高山植物園、六甲オルゴールミュージアム、風の教会の5会場にそれぞれ展示物があり、見て回ることができます。昨年はずべての会場を回りきれなかったのが、今年こそ！と思い、1番最初に昨年見られなかった風の教会を見に行きました。

今月紹介するのは「安藤忠雄 仕事をつくる」。今ではたくさんの建築を手がけられ、世界的にも有名な安藤さんですが、大学へ進学せず、独学で建築を学ぶところからスタート。高校を卒業し、働きながら勉強をされました。教科書をひたすら読み、大学4年間の内容を1年間で読破！意地と気力でやりきったそうです。その後はデッサン、グラフィックデザイン、インテリアなど、建築に関係ありそうなことを通信教育で勉強。お休みの日には京都や奈良に出かけたり、日本全国各地の建築を見る旅行をしたりと実際の体験も大事にされました。長い実務経験を経て、難関の一級建築士の資格も取得。集中力や気力があればできないことはないのでは？と読んでいた私も勇気づけられました。新しいことに挑戦すること、冒険することはすごく勇気のいることですが、自分の気持ちさえしっかり持っていれば、意外とやっつけられるのかもしれない。好きなこと、やりたいことには一生懸命になれるよ

また、2019年9月10日には「安藤忠雄さん 神戸に子ども向け図書館建設を計画」という報道がありました。建物の規模や会館時期は未定ですが、安藤さんが設計・建設し、神戸市に寄贈して下さるそうです。予定地は東遊園地とのこと。完成が楽しみです。現在、大阪の中之島にも「こども本の森 中之島」を建設中。こちらは2020年の3月に開館予定です。

## 安藤忠雄

風の教会は1986年に竣工、設計は建築家の安藤忠雄が手がけました。大阪府の「光の教会」、北海道の「水の教会」と合わせた「教会三部作」のうち、最初に設計した教会です。当初は六甲オリエンタルホテルの敷地内に建てられましたが、2007年にホテルが営業を終了。見学もできなくなっていました。最近では六甲ミーツ・アートの期間中は見学できるようになっています。教会へ続く回廊を歩いていると、奥から反響した声が響いてきます。安藤建築の特徴であるコンクリート打ちっ放しでつくられているので、無機質な印象もありましたが、やわらかな光が差し込む素敵な空間でした。シンプルな十字架もとてもマッチしています。

20代の時、ひとりで7ヶ月間に及ぶヨーロッパ旅行をした安藤さんは、「建築とは、人間が集まって語り合う場をつくる行為にほかならない」ことに思い至ったそうです。そう言われてみれば、家も学校も教会もそのほかの建物も、そこに集まる人たちのためにあるもの。それは今も昔も変わらないことだなぁ、と思いました。そういう考えを抱きながらつくられていると思うと、まわりの建築物にも興味がいってきそうです。ちなみに、兵庫県内にある安藤さんの建築物は、兵庫県立美術館や淡路夢舞台 百段苑、六甲の集合住宅Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、南京町にある神戸コロック元町店など、すぐ見に行ける場所にもありますよ♪大阪には住吉の長屋、光の教会、京都には大山崎美術館、アートで有名な直島にはベネッセハウスや地中美術館など...みなさんも見たことがあるかもしれませんね。

### 安藤忠雄

1941年大阪生まれ。建築家。独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。79年「住吉の長屋」で日本建築学会賞。イェール大学、コロンビア大学、ハーバード大学の客員教授を務め、97年東京大学教授、03年から名誉教授。93年日本芸術院賞、95年ブリッカー賞、05年国際建築家連合ゴールドメダルなど受賞多数。